

Informatica PowerCenter

メタデータ主導型データ統合プラットフォーム

Informatica PowerCenter は、データの価値を最大化します

『Informatica PowerCenter』は、大規模なデータ統合基盤として数多くの実績のある、インフォマティカ社のETL (Extract, Transform, Loading) ツールです。データ連携に必要なあらゆる機能を包括的に装備した、エンタープライズデータ統合プラットフォームです。

従来型のDWHにおける課題

ロジックのブラックボックス化

データ統合処理ロジックがDB内に埋め込まれ属人化・ブラックボックス化し、**運用負荷が増大**だけでなく、要件追加や将来の再構築など**変化対応の足かせ**に。

DBリソースの無駄遣い

加工前のローデータや、統合処理のための中間データ、似たようなデータの重複など、最終的には**不要なデータが貴重なDWHリソースを圧迫**

データガバナンスの欠如

どんなデータが存在するか、どういったロジックでデータが加工されているかが把握できず、**データの品質や信頼性、セキュリティも担保できない**。

PowerCenterで解決

ロジックの疎結合化と可視化

データ統合処理ロジックをDBから切り出すことで、属人化・ブラックボックス化を回避、**開発運用効率を向上**。ソース追加やDWH再構築にも**柔軟に対応可能**に。

DBリソースの最適化

必要なデータ統合・クレンジング処理をした上で、必要最小限のデータのみをロードすることで、データの冗長化を抑制、**DWHリソースを最大限活用**。

データガバナンスの強化

データの所在と流れを可視化、**来歴/影響分析を可能**にするとともに、**データの品質・信頼性、セキュリティも担保、ガバナンスを強化**。

Informatica PowerCenter データ統合を強力に支援する4つの性能

1. 接続性

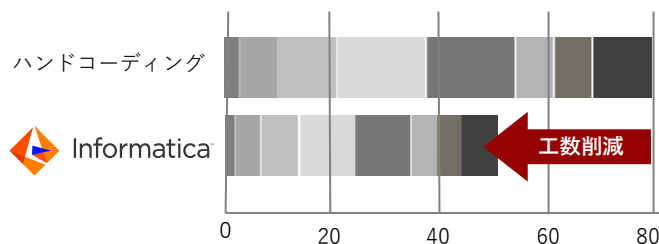
あらゆるデータへの容易なアクセスを実現

接続先は随時更新（追加）
掲載情報は2020年3月時点



2. 生産性

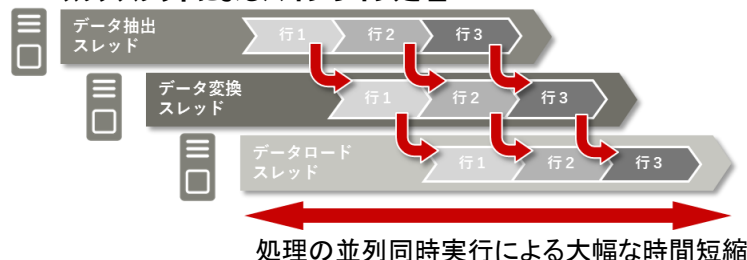
GUI開発、変換処理ロジックの再利用などによる開発・運用生産性の最大化



3. パフォーマンス

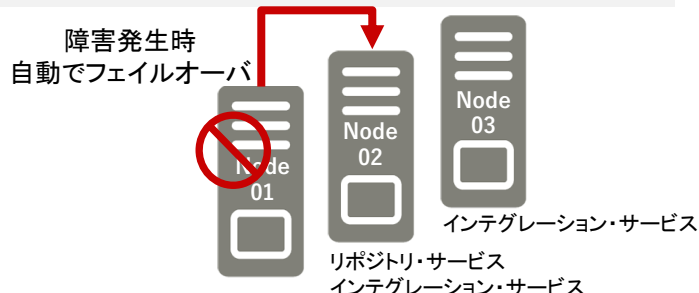
マルチコアCPUの性能を最大限に活かしたデータ連携処理の最速化

● マルチスレッドによるパイプライン処理



4. 可用性・拡張性

ミッションクリティカルな基盤としての堅牢性と柔軟な拡張性



PowerCenterの特長

企業のデータ連携を支えるデータ統合基盤ソリューションとして様々な特長があります。

➤ パフォーマンス

ETL処理で基本となるパイプライン処理を実装し、さらにプッシュダウン機能などによりお客様のデータ連携スピードを最速化します。さらにはスケールアップ、スケールアウトにも柔軟に対応でき、リニアな性能向上が期待できます。

➤ ユニバーサルアクセス

主要RDBMS製品および、各種ERP製品など多彩なデータ連携が可能です。またビジネス要求に合わせたタイミング（バッチ、リアルタイム、差分抽出）でのデータ連携を実現します。

➤ チームベース開発

開発に携わるユーザ管理、開発資産であるデータ連携ロジックのバージョン管理を実現します。チェックイン、チェックアウトの実装により排他的に操作し、リリース管理を実現しています。

➤ 開發生産性

開発環境はGUIとしてノンプログラミングで開発可能です。容易かつ視覚的に連携ロジックの把握、データ連携の見える化を実現します。さらに開発部品の再利用を可能にし、開發生産性を最大限に効率化します。

➤ メタデータ管理

データ連携開発の過程で収集した情報はすべてメタデータとして管理します。表定義だけではなく、データ項目、その属性を含めた情報が一元管理されます。

➤ 影響分析

メタデータ情報を元に、データ項目変更時などの影響分析、関連あるデータ連携の一覧表示、データ連携内で関連個所の見える化を実現します。

富士通の強み

- データ統合関連ビジネスに関して20年以上の実績を有し、経験豊富な技術者が多数在籍
- インフォマティカ再販パートナーとして15年以上のInformaticaソリューション取り扱い実績
- DWH/BI/BAといった情報利活用とともにお客様への最適なソリューションをご提案ご提供可能
- 「Informatica Partner Award」を2017年度、2018年度、2019年度の3年連続で受賞

富士通におけるInformaticaソリューション導入実績

業種を問わず様々なお客様への導入実績を有しております。

導入例	概略
【企業統合】 企業の統合に伴い、両会社のデータを統一して見られるDWHシステム用データの作成	お客様例：アパレル会社様 企業統合における全社を横断したデータ参照など、バラバラなコード体系／フォーマットを統一を実現
【共同利用システムからのデータ抽出】 複数会社で共同利用するシステムから、各社システムに合わせた形でデータを抽出	お客様例：カード会社様 共同利用システムのクラウド型システムから自システム用データ抽出を実現
【データハブ】 複数システム間の データ連携	お客様例：製薬会社様 「サイロ型のシステム」間連携の「データハブ」として実現
【大規模DWH作成】 データ量やテーブル数が多いDWHシステムの構築	お客様例：地方銀行様・生命保険会社様 大量データ、多数テーブル、短納期でのDWHの構築事例 手組での構築に比べ工数の低減およびスケジュールの短縮を実現

その他導入実績(業種)：物流・製造・金融(銀行)・金融(証券)・金融(クレジット)・商社・ヘルスケア・建設・不動産・造船・製薬・通信 など

※記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載された情報は、予告なく変更することがあります。
※記載の内容は、2020年8月現在のものです。

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン（総合窓口）
0120-933-200

受付時間 9:00～12:00 および 13:00～17:30
(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)